

第22回議会報告会（令和6年5月）報告書

令和6年7月

那須塩原市 広聴広報委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第22回目の開催となりました。

今回の議会報告会は、前回同様議会報告をコンパクトにし、意見交換を重点に実施することといたしました。内容は、議会報告及び意見交換とし、意見交換は「地域の困りごとは何ですか？」をメインテーマにし、第2次那須塩原市総合計画後期基本計画〈令和5(2023)年度～令和9(2027)年度〉重点推進テーマ・基本政策から選んだ「雇用・仕事、交流・自治会・コミュニティ、暮らし・環境、福祉、教育、子育て」をサブテーマに設け実施しました。また、対面だけでなくオンラインを利用してハイブリット形式で開催し、市民が参加しやすい環境を整えました。今回の報告会は各テーマ別にテーブルを設置して、参加した市民が興味のあるテーブルに着席して意見交換するスタイルに変更し、より活発な意見交換の場となることを目指しました。東那須野公民館にて「議会報告会」が開催できたことに対して、ご参加いただいた多くの市民の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出します。

目次

1	第22回議会報告会実施概要	1
2	主な意見及び要望等	2
	❖サブテーマ 雇用・仕事について	2
	❖サブテーマ 交流・自治会・コミュニティについて	2
	❖サブテーマ 暮らし・環境について	2
	❖サブテーマ 福祉について	3
	❖サブテーマ 教育について	3
	❖サブテーマ 子育てについて	4
	❖アンケート自由記入欄の意見及び要望	5
3	第22回議会報告会のまとめと考察	6

1 第22回議会報告会実施概要

開催日時	令和6年5月18日（土） 午後1時30分 ～ 午後4時				
開催場所	東那須野公民館				
参加人数	16人（うちオンライン3人）				
担当議員	統括	星 宏子	進行	星野 健二	
	各テーブル ホスト	A 小島 耕一 D 室井 孝幸	B 堤 正明 E 林 美幸	C 中里 康寛 F 森本 彰伸	
テ ー マ	「地域の困りごとは何ですか」 (雇用・仕事) (交流・自治会・コミュニティ) (暮らし・環境) (福祉) (教育) (子育て)				

2 主な意見及び要望等

◆サブテーマ 雇用・仕事について

- ・雇用形態で将来のことを考えると、正規雇用が良いと思うが、現実には、時給のいい非正規雇用を選択するのでは
- ・現在の給料を考えると、結婚に踏み切れない
- ・中小企業は、この先淘汰されていくのでは
- ・大手企業は、関連会社を生かさず、殺さずに活用している
- ・給料を上げる対策を考えるべきでは
- ・今の農業では、収入が少なく、生活が成り立たない
- ・円安等で農業資材が高騰していて、経営が厳しい
- ・農作業は、身体に負担がかかりすぎる。機械化するにも、高額のため設備投資ができない。
- ・イチゴの「とちあいか」は、栃木県のブランドなので、本市でブランド化するのは難しいのでは

◆サブテーマ 交流・自治会・コミュニティについて

■自治会・コミュニティは必要か

- ・自治会に入らなくても生活するのに困らない
- ・高齢化で会長のなり手がいない
- ・入会していないとゴミステーションが利用できない
- ⇒別にゴミステーションサークルを作りたい
- ⇒ゴミステーションの利用に地域差がある

■コミュニケーションができる場所

- ・地域の垣根を越えて映画を作っている

■観光

- ・那須塩原は東京に近く観光面で有利である
- ⇒那須塩原（那須）の良さが首都圏に伝わっていない

◆サブテーマ 暮らし・環境について

- ・公共交通網の更なる整備に期待したい
- ・市域が広いのでどうしようもないが地域間格差が甚だしい
- ・新たな移動手段のユータクの月額 5,800 円は高額すぎる
- ・環境先進市を標榜するのであれば、職員や議員は率先して、公共交通や自転車を利用して通勤すべき
- ・環境戦略部の横文字の三つの課はわかりづらい。市民に対して説明不足
- ・自治会加入のメリットがわからない
- ・公民館は限られた人しか利用していない

- ・ 自治会役員の後継者不足が心配である
- ・ 社会的弱者に自治会の未加入者が多い
- ・ 増加している外国人住民にゴミ出しのルール等の周知徹底を
- ・ 地域のコミュニティは必要であるが程よい距離も必要
- ・ 環境対策及び介護予防としても、半径2キロ程度であれば徒歩移動を

◆サブテーマ 福祉について

- ・ 孤独死が全国的に多くなっている。那須塩原市として何か対策を考えてほしい。
- ・ 認知症高齢者に対してのサポート体制づくりを進めてほしい
- ・ 長寿の湯を存続させるための努力をしてほしい（利用料金が現在は安価すぎるので、料金改訂するなどして）
- ・ 高齢者外出支援タクシー券のあり方について今後ますます高齢化が進み支出増になってくることが予想される。公平性なども考えてしっかりシュミレーションしていただき、削減できる分を子育てに充当していただきたい。
- ・ 福祉施設（特別養護老人ホーム）に入れるまで長い時間がかかる。スムーズに受け入れてもらえないか。

◆サブテーマ 教育について

- ・ スマホ、タブレット SNS に対応した教育の確立不足。スマホ中毒、SNS 中毒がトラブルになっている。
- ・ 塾に行かないと成績が上がらない。世帯所得による教育格差、体験の格差。子供は地域と関わるのが少なくなり社会体験格差が起きている。
- ・ ホームページにおいて情報開示が学校ごとに違う。学校側からの情報と連絡のやり方がわからない。
- ・ 保育園と幼稚園、小学校と中学校など情報共有が図られていない。
- ・ 地元の高校は特色が無く、進学を希望する高校は南地域に引っ張られている。地元の学校は特色を持たせ生徒が楽しめる学校にしていかなければならない。
- ・ 部活の送迎、負担が大きすぎる。
- ・ コロナ以降、学校イベントが少なくなった。また、町内会の集まりが減っているなど人や地域との関わりが薄くなった。学校ルールの為、自転車で行けないなど行動制限が有り、学校の監視外で経験が出来ない。地域で大人と関わる機会が少なく怒られるや叱られるのに慣れていないなど、地域の教育が減った。
- ・ 親のわがママが加速。
- ・ 家庭学習(自主学習)において学校と親との責任がどこまでなのか線引きが曖昧。
- ・ 車で通学が増えた。学校は責任を取りたくなく、保護者によっては対応に困っている。
- ・ とにかく先生が忙しい。不登校対応は後手後手である。
- ・ 先生のモチベーションが低い。
- ・ 登校班が今は有ってないようなもの、どうすれば良いか。
- ・ 部活の送迎負担が大きすぎる。子供の迎えが大変など親の負担が多すぎる。

- ・ 部活動の制限が有り過ぎるなど子供を縛りすぎている。子供の権利は何か、このまま育つと社会に出たときに大変ではないか。
- ・ 西那須野図書館の第2と第4月曜日は休館であるが、振替休日が多いので子供の学習施設として使えないので火曜日に変えてほしい。また、月曜日が祝日の場合は月曜日を閉館し火曜日を休館とするよう条例を改正して欲しい。公民館も居場所として機能しているので、祝日休みも変えて欲しい。
- ・ 西那須野、黒磯、塩原それぞれの地域の歴史を学ぶことで、地域間の分断をなくせる。地域で育ったアイデンティティーを持つことが大切である。魂を持って生きる心は己のルーツを知ることからである。地域で活躍する人材育成に繋がる。
- ・ 課題解決に向けて活動するPTAは地域の課題に気づき産業振興につながる。地域の担い手育成であった育成会も衰退してしまった。
- ・ 地域の伝統芸を子供たちに。お祭りの復活。地域のつながりが薄くなり、大人が子供に話しかけると不審者扱いされてしまう現実がある。社会的結束が大事。
- ・ 地域を作る地域を育てることは簡単ではないので、まず育てる人をつくる。子供は地域で学び地域で守る地域の人的資源、その人たちの経験、知恵を生かす。
- ・ 子供の教育は、親の教育も必要である。親は学校への送迎が大変である。
- ・ 第二次大戦後のGHQが作った学校で教えている日本史には欠陥がある。学校で教えていない自らの日本史を学ぶべきである。それらを学ぶ環境を作るべきである。文科省の歴史感には問題がある。

◆サブテーマ 子育てについて

- ・ 母親としての役割が多く忙しい、昔は地域が育ててくれる環境があった
- ・ 社会が変化して子育てしづらい。子育てへの理解の面
- ・ 何でも母親のせいにする人が多い。家庭内での子育てへの理解も足りない。
- ・ 母親だけで悩むことが多い
- ・ 子育てを夫婦で行う両輪と感じてほしい（意識）
- ・ 昔は大家族で子育てを助けてくれる世代があったが、現在は核家族なので一人に任せ過ぎると大変と気付いてほしい
- ・ ファミリーサポートはもっとシングルが使い易い要件にしてほしい（お金がないと使えない、余裕がない。制度を知らない。）
- ・ 多子世帯の課題がある。仕事、食費などの余裕が無く悪循環に陥りやすい。
- ・ サポートで親戚のような居場所があれば、母親の時間が持てたり、働く事もできる
- ・ 現在は様々な事柄に対し貧困（経済・経験）がついて廻るので、なかなか、その環境から抜け出せない（変えたい気持ちはあるのに）
- ・ ヤングケアラーなど若年層の貧困（情報を知らない、SOSを出せない）
- ・ 子育てを楽しめない家庭が多い。子どもが産まれて謝ってばかり。
- ・ つながり無く一人で抱え混んでいる
- ・ 子育てするのにもお金がかかる（二極化が進んでいる）
- ・ 遊具のある公園がほしい

- ・ 子どもを学校に送り出すまでの準備で自分も仕事へ行く準備をするために慌ただしい。
- ・ 学童に通っている子の親御さんは非正規雇用の方が多い傾向、働き方が受け入れ要件で決まりゆとりある制度になっていない。
- ・ 父母で働き方体系が違ふとすれ違いに陥りやすく相談出来ずに孤立してしまい負のスパイラルになってしまう
- ・ 企業側も、もっと子育てし易い環境に理解するような社会貢献があつて良い。休日取得や賃金体系、働く時間など。
- ・ 受け入れ施設は夜間や低料金で受け入れ易い自治体支援、産後の親の保養施設や制度の拡充。その事で地域との繋がりが持てる
- ・ 保育士の賃金、処遇の改善を国へ働き掛けてほしい
- ・ 女性の働きやすい環境づくり
- ・ 子ども食堂について出来るだけ多く開催してほしい
- ・ 情報発信をしっかりとやってほしい

◆アンケート自由記入欄の意見及び要望

- ・ 今回は暮らし・自治会の2つに参加したが全項目に参加したかった。今日の内容が少しでも市民の為になる様期待いたします。別紙にて提案あり。
- ・ とても良かったです。また参加したいです。
- ・ たくさんの意見を反映させて、実現化に向かうようになれば良いと思います。
- ・ 大変良かったです。
- ・ テーマが大きい。少し絞ったテーマのグループ分けをしたら良いのでは。
- ・ 一般市民の参加が少なすぎる。飲み物、お菓子などあったのは嬉しかった。議員としての品格をしっかりと持って活動してもらいたい。
- ・ 参加人数が少ない。対応を！悩み(今日あったテーマ)について、少しでも改善をお願いします！
- ・ 言いたい事がある程度言えた。話をしすぎたかな？
- ・ 参加の入り口のハードルを下げてください。18才以下が参加するためには？実際に取り組んでいる人に来てもらうには？聞いた意見をどう具体的に生かし、どの様にしたか結果を可視化してほしい。
- ・ より多くの市民が参加できる広報、日時や場所の設定をお願いいたします！
- ・ 市民の参加人数が少なすぎる。
- ・ 最初のグループで那須塩原以外の人が入っていたので、参加者は市民に限定したほうが良いと思いました。自治会の加入者が減っているということが多くの自治会の課題であると思いますし、私もどうにかしたいという想いでそのテーマに参加しましたが、とある議員は、うちは100パーセント加入していると発言していて、市民に寄り添う気がないように感じました。

- ・ 市民の意見を聞く場は貴重だと思いますので、ぜひ自分たちが語るのではなく、市民の意見や困りごとに耳を傾け、市政に反映していただければと思います。zoomの参加者だけの班をつくり、ブレイクアウトで話してもよさそうです。
- ・ 議員の方々意見交換ができてよかったです

3 第22回議会報告会のまとめと考察

今回の報告会を振り返るとともに、アンケート結果等を踏まえ、良かった点、改善すべき点などを整理・考察する。

(1) 実施体制について

- 全議員の参加によるフォーラム形式で実施した
- Zoomでの参加も可能とした。

(2) 広報活動について

- ポスター掲示依頼（86施設）、チラシの班回覧
- 各議員による個別の声掛け（議員1人につきポスター5枚、チラシ20枚）

(3) 会場設定及び参加者数について

- 東那須公民館を会場とした
- 参加者数は、16名となった（うち3人はZoomでの参加）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66

	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
開催年月	H30.11	R元.6	R元.11	R2.2	R2.7.17~9.30	R2.11	R3.11	R4.5	R4.11	R5.6
参加者数	78	23	70	152	72	29	97	38	51	24

	第21回	第22回
開催年月	R5.11	R6.5
参加者数	68	16

(4) 当日の進行について

- 広聴広報委員会において進行等の関係資料を作成し、議員全員協議会を通じて全議員への周知等を行った
- 2部制とし、第1部では議会報告を広聴広報委員長が行い、第2部は意見交換会を実施した

- 全体の進行は副委員長が行い、各グループの進行役は広聴広報委員が担った
- 会場設営はアイランド型とし、テーマごとに6テーブルを用意した

(ア) 意見交換テーマについて

○地域の困りごとは何ですか？をテーマを設定し、以下の6つをサブテーマとした

- 雇用・仕事
- 交流・自治会・コミュニティ
- 暮らし・環境
- 福祉
- 教育
- 子育て

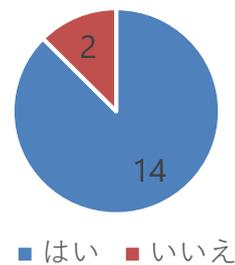
(イ) 時間の配分について

- 議会報告 約5分
- 意見交換 約2時間20分（説明、休憩、発表含む）

(5) アンケート集計結果（回答率 93% 参加者15名 回答14名）

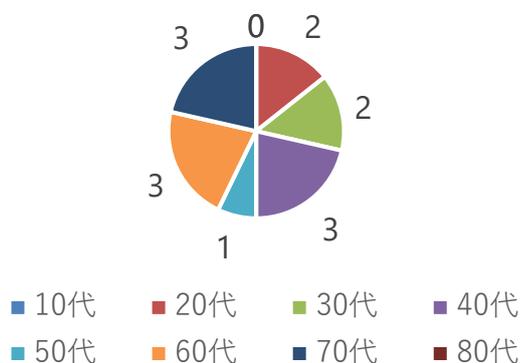
問1 那須塩原市にお住まいですか？

- はい **12**名
- いいえ **2**名



問2 年齢についてお答えください

- 10代 **0**名
- 20代 **2**名
- 30代 **2**名
- 40代 **3**名
- 50代 **1**名
- 60代 **3**名
- 70代 **3**名
- 80代 **0**名



問3 議会フォーラムは何でお知りになりましたか？（複数回答）

- 各戸配布チラシ 2名
- 議会だより 0名
- 見るメール 2名
- ポスター 1名
- ホームページ 0名
- 議員・知人からの紹介 3名
- その他 1名



問4 今回の議会フォーラムの評価についてお尋ねします

- 評価する 10名
- どちらともいえない 4名



▶理由（○評価する●どちらともいえない）

○もっと機会が増えるといいですね。是非役立てていただきたい。 ○地域の人をまきこんで開催している。 ○色々なテーマで意見交換ができて良かったです。 ○色々な方の意見が聞け、市政の問題が理解できた。 ●もう少し詳しく ○一般市民の方にたくさん参加してほしい。 ○市民の声を聞いてくれる場なので！ ○内容が良かった。 ●開会する旨をもっと力を入れて周知すべき。出席者が少ないのでは。 ○よい対話の場だと思います。 ●もう少し、ひとつひとつのテーマについて深く話を聞く時間が必要ではないかと感じました。全体で共有することも必要ですが、発表することが目的になってしまい、課題について話し合う時間が少なかったです。

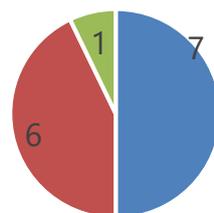
問5 議会フォーラムで取り上げてほしいテーマはありますか

▶自由記述

○交通安全について。(特にチャイルドシート着用) ○仕事の雇用 ○少子化対策など ○人口減少を救うには具体的に何かあるか。 ○自治会をなくしてほしい。 ○教育の「今まで」ではなく「これから」を具体的に。 ○公共交通機関、広域連携

問6 また議会フォーラムが開催されることがあったら参加したいですか

- 参加したい 7名
- 日程と時間が合えば参加したい 6名
- 無回答 1名



■ 参加したい ■ 日程と時間が合えば参加したい

(6) 市民の皆様からいただいた意見・要望について

今回の議会報告会でいただいた意見・要望等については、議会だより（8月号）にも掲載をしている。各委員会で取り扱いを決めて、今後の活動に活かして行きたい。

(7) 今後の議会報告会について

今回の議会報告会は前回の「議会フォーラム」より参加者が少なく、各種団体に参加依頼をするなど丁寧に周知を図る必要がありました。アンケートにもある通り、参加者が少ないことが残念であるとの意見を頂いた一方で、次回も参加したいとの回答数が多いことを勘案すると、今回の意見交換会は参加者の満足度は高い内容になったと考察します。参加者が最初から興味のある分野のテーブルに座り同じく関心の高い市民同士が議員とともに意見交換することにより、テーマに関してより活発で深掘りできる意見交換の場となりました。議員と市民が同じテーマで話し合える場を作ることにより市の課題に対して市民の声をより深く聴くことができ、さらに議員も課題に対して情報共有が図れたものと実感します。

市民の議会へ対する関心度の向上に大きな効果をもたらすためにも、今後も新たな市民の参画を模索していくのと同時に、これまでいただいている意見を精査し、今後どのような形で取り組み、良い結果を導き出せるか、委員会で協議を重ね検討し、その結果を市民に報告できる体制の確立を目指していくことが大切です。尚、今回のアンケートで寄せられた報告会に関するご意見等は次回の意見交換会に活かしてまいります。

最後に、市民の皆様のご参加と、全議員及び事務局そして、関わられた方々に感謝を申し上げます。